

当院で急性大動脈解離の加療をされた患者の皆様へ

現在、当院心臓血管内科では、「急性心筋梗塞を合併した急性大動脈解離の多施設後ろ向き研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では平成20年1月から平成31年5月の期間で急性大動脈解離に急性心筋梗塞を合併した患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

研究課題名

「急性心筋梗塞を合併した急性大動脈解離の多施設後ろ向き研究」

研究責任者

千葉大学大学院医学研究院循環器内科学 教授 小林 欣夫

研究の意義・目的

急性心筋梗塞を合併した急性大動脈解離は、予後が極めて悪く、今まで十分に検討がなされているとは言い難いのが現状です。そこで我々は本疾患における特性、特に解離の進展の評価を、多施設後ろ向きコホート研究という形で行うこととしました。これにより疾患の特性を理解し、適切な評価と治療介入法について検討することを目的とします。

研究の方法

研究に用いるのは該当する症例の診療記録です。具体的には患者背景、症状、バイタルサイン、血液生化学凝固検査(心筋逸脱酵素、腎機能検査、肝機能検査および血液凝固能検査)、尿検査、胸腹部CT画像検査、心電図検査、手術所見/剖検所見(該当症例のみ)です。個人を特定できる情報(氏名、生年月日、住所、電話番号、カルテ番号)は収集しません。

個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、当院の冠疾患科部長室および千葉大学大学院医学研究院循環器内科学の医局の鍵のかかる棚で保管します。

外部への試料・情報の提供

本研究は、千葉大学を代表機関とする多施設共同研究です。各研究機関で収集、匿名化されたデータは研究代表機関の千葉大学大学院医学研究院循環器内科学へ送られ、解析されます。

研究組織

研究機関

千葉大学医学部付属病院(研究責任者：循環器内科学 教授 小林 欣夫)

共同研究機関

千葉県救急医療センター(責任者：循環器治療科 病院長 石橋 巖)

千葉県循環器病センター(責任者：循環器科 診療部長 中村 精岳)

君津中央病院(責任者：循環器内科 副院長 氷見 寿治)

成田赤十字病院(責任者：血管内治療科 部長 橋口 直樹)

船橋市立医療センター(責任者：循環器内科 副院長 稲垣 雅行)

川崎幸病院 (責任者：循環器内科 主任部長 桃原 哲也)

旭中央病院(責任者：循環器内科 主任部長 神田 順二)

東京ベイ・浦安市川医療センター(責任者：循環器内科 ハートセンター長 渡辺 弘之)

国立循環器病研究センター (責任者：心臓血管内科 副院長 安田 聡)

岩手医科大学 (責任者：医学教育学講座地域医療学 教授 伊藤 智範)

福岡輝栄会病院 (責任者：循環器内科 副院長 大塚 頼隆)

川崎医科大学 (責任者：循環器内科 教授 小島 淳)

済生会熊本病院 (責任者：循環器内科 部長 坂本 知浩)

松戸市立総合医療センター(責任者：循環器内科 部長 福島 賢一)

東京女子医科大学 (責任者：循環器内科学 特任教授 山口 淳一)

福山循環器病院 (責任者：循環器内科 部長 後藤 賢治)

榊原記念病院 (責任者：循環器内科 主任部長 七里 守)

研究期間

研究許可日より 2022 年 2 月 28 日まで (予定)

研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

問合せ先

研究実施機関 : 国立循環器病研究センター

本件のお問合せ先: 心臓血管内科 冠疾患科

医師 中島 啓裕

06 (6170) 1070 内線 60201

研究代表機関 : 千葉大学大学院医学研究院循環器内科学

研究代表者 : 小林 欣夫